

Be positive

学校長 卯月 道彦

本日、84名の新入生を迎え、本校第30回入学式を挙行いたします。残念ながら、今年度の入学式も在校生は参加できませんでした。着任式、始業式も学年ごとに実施しました。依然として新型コロナウイルス感染対策が続く中で令和3年度のスタートです。従来の形で学校を完全再開できるのはいつになるのか、まだまだ分かりませんが、学校として今現在できることを工夫しながらやっていくしかないと考えます。今年度の重点テーマは「Be positive」としました。私は「ポジティブ」という言葉が好きです。このようなご時世ですが、物事を悲観的や否定的に捉えても仕方ありません。大人も子どもも制限された中で毎日の生活をおくっていますが、物事をポジティブにとらえ、できることを工夫しながら頑張っていきたいという私の思いです。ポジティブに考え、自己肯定感をもって向上できる子どもたちを育てていきたいと思っております。そして子どもは勿論、すべての人たちが「楽しい」と実感できる学校を目指します。1年間どうぞよろしくお願い致します。

学校長 自己紹介

はじめまして、今年度緑園中学校に校長として着任しました、卯月道彦です。前任校は清川中学校です。どうぞよろしくお願い致します。先日、私にとってショックな出来事がありました。俳優の田中邦衛さんが亡くなったことです。私は田中邦衛さんが主演を務めたドラマ「北の国から」が大好きでした。大学時代に「北の国から」の再放送



をテレビで観て衝撃を受け、北海道の大自然に憧れました。そして、東京都の教員採用試験が不合格となった時、大学卒業後の身の振り方について考えました。その結果、それまで1度も足を踏み入れたことのない憧れの北海道で教師をやってみたいと思えました。北海道教育委員会に自分で電話し、期限付採用の申し込みをしました。そして、平成3年4月、東京の有明港から釧路港まで30時間かけて船で北海道にたどり着きました。そして釧路駅から特急「おおぞら」に乗車して帯広駅まで来ました。帯広駅に降りてみると、私が思い描いていた「北の国から」の世界とは全く違った帯広の町並みがあり、衝撃を受けたことを覚えています。誰も身寄りのない北海道帯広で私の教員人生は始まりました。帯広第四中学校で1年間期限付の採用で働かせていただき、運良く北海道教員採用試験にも合格することができました。そして、平成4年4月、帯広市立緑園中学校が開校の時に、私は新採用として緑園中学校で働けることになりました。4月1日に職員全員で初めて校舎に入り、みんなで机を職員室に入れる作業からやったことを覚えています。それから4年間緑園中学校で働かせていただきました。今振り返ると、若さと勢いだけで毎日を乗り切っていた、かなり恥ずかしい4年間ですが、私にとっては特別な思いがある緑園中学校です。この度、初任の学校に戻ってくることができ、本当に嬉しい思いで一杯です。田中邦衛さんの死去はショックでしたが、それも時代の流れです。緑園中の開校から30年。私もあの時から30年をとりましたが、また新たな気持ちで学校経営にあたりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

職員紹介

☆は今年度新しく本校に赴任した職員です。

校長	卯月 道彦☆			教諭	山口 匠	7組	社会
教頭	堀口 初枝			教諭	横山 亨	8組	英語
主幹教諭	山崎 慶太		理科	教諭	佐藤 明子☆	3付	音楽
教諭	松川 敏明	1-1	数学	教諭	長内 直樹	3付	社会
教諭	坂上 篤史☆	1-2	英語	栄養教諭	大丘 くみこ		
教諭	亀谷 知樹	1-3	保体	養護教諭	立花 尚子☆		
教諭	佐藤 裕古	5組	国語	事務職員	林田 光弘☆		
教諭	石倉 貴浩☆	7組	保体	時間講師	中岡 信一		
教諭	入江 映子	1付	美術	助手	松原 恭子		
教諭	佐藤 琉太☆	7付	社会	学習指導員	鈴木 浩之☆		
教諭	川口 順司	2-1	社会	特支補助員	辻丸 奈緒美		
教諭	柴田 圭	2-2	英語	校務員 (用務)	清水 久智		
教諭	服部 和登	2-3	数学	校務員 (事務)	菖蒲 知里		
教諭	高島 恵樹	2付	保体	相談員	阿部 一洋		
教諭	福永 真里☆	7付	国語	SC	森 朋子		
教諭	齋藤 瑞穂☆	2付	理科	給食・収納	堀田 正江		
教諭	谷 薫	3-1	国語	給食	後藤瑠衣子		
教諭	市瀬 裕大	3-2	数学				
教諭	金井 敬斗	3-3	技家				

北海道子ども相談センターより



お子さんの学校生活について、悩みや不安、お困りのことがありましたら、まず学校の先生に相談してください。また、北海道教育委員会では、「北海道子ども相談支援センター」を設置し、いじめや不登校、生徒に対する教職員の不適切な指導など学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みについて、子どもや保護者から直接相談を受け、問題の解決につなげる支援を行っています。

●電話相談（無料、毎日24時間対応） 0120-3882-56

●メール相談 doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

●来所相談（10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。）

子ども相談支援センター（札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階）

*上記電話相談で、予約の御案内をしています。

北海道立教育研究所 江別市文京台東町42番地

●十勝教育局においても、相談を受け付けています（平日の8:45～17:30） 0155-23-4950

